



## 「池子の森自然公園 ホタルの会通信」

(2024年4月18日)

編集：池子の森自然公園、ホタルの会

### ▶ ハンゲショウ(半化粧)

芝生広場前の久木川が水溜り状になった湿地に自生するハンゲショウ、旧暦の半夏至(今年は7月1日)頃に上部の葉が白くなって気になる植物です。実はハンゲショウはこの時期に花の近くの葉を白くすることで目立たせて虫を引き寄せ、受粉につなげると考えられています。葉が白くなる仕組みは葉の葉緑体が葉緑素を作らなくなるためです。動くことのできない植物の繁殖戦略！凄いですね。



池子のハンゲショウ  
2023年6月20日  
円内/化粧した(?)葉と虫の受粉を待つ花穂

ハンゲショウはホタルとともに、池子に夏の到来を感じさせてくれます。以前はハンゲショウ群落が際立っていましたが、数年前からヨシの混植が目立つようになりました。今期はヨシの生育を抑えて、以前のようなハンゲショウ群落を復活させたいと考えています。ハンゲショウの見頃は6月下旬からです。皆様、どうぞご鑑賞のほどを👍



ハンゲショウが生えている芝生広場前の湿地(4月18日)



ヨシに被圧されているハンゲショウ(2023年6月20日撮影)



地下茎から芽を出してきたハンゲショウ(4月18日)



同左、このままでは背後のヨシの成長に負けそうです。

写真-1 久木池下流①、ハンゲショウ生育の様子